



JPI催しのご案内

2014
11

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 平成26年11月27日(木) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第202回包装ラインシステム化研究会

13:15~15:00

【テーマ】PETボトル用ラベラの変遷と今後の応用

清涼飲料におけるPETボトル用ラベラは、従来のシュリンクラベラ一辺倒から、ここ数年で、多くのロールラベラが導入され、一定量がシュリンクラベルからロールラベルへ変わってきた。さらに、ここに来て、ロールラベルとシュリンクラベルの兼用が可能なロールオンシュリンクラベルも

開発し、実際に使用されている。今回の講演では、これを可能にしてきたラベラの技術的な変遷を中心にいき、さらに、今後、清涼飲料業界で培ってきた技術を応用した、食品業界など新たな需要の可能性を示す。

【講師】シブヤマシナリー株式会社 生産統轄本部 技術本部 執行役員 本部長 橋本三夫氏
【コーディネーター】ライオンエンジニアリング(株) 技術統括部 包装統括グループ チーフリーダー 橋本誠也氏

第2部 第205回生活者包装研究会

15:15~17:00

【テーマ】デザイン調査から分かった愛されるデザイン

パッケージは、総合的なユーザー体験を演出するために欠かせないツールです。自分たちがどのような思いで商品を作ったのか、どのような人に手に取ってもらいたいのか、そして、手に取ってくれた消費者にどんな気持ちになってほしいのか。そんなおもてなしを伝えるツールです。とはいえ、消費者はど

んなデザインを好み、どんなデザインにお金を払いたいと思っているのか。日経デザインが消費者に実施してきた様々な調査から、愛されるデザインとはどんなのかを数字を使って解説します。

【講師】日経BP社 日経デザイン 編集長 丸尾弘志氏
【コーディネーター】ライオン(株) 包装技術研究所 包装管理士 西野将嗣氏
丸金印刷(株) 営業2部 部長 包装専士 伊藤究氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

11月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

【見学先】東洋製罐グループホールディングス(株) 容器文化ミュージアム
 【日時】26年11月26日(水)14:00~16:00
 【定員】30名 ※定員超過の場合は1社/1名とさせていただきます
 【集合場所】容器文化ミュージアム前 ※詳細は参加証発送時にご案内致します
 【参加費】JPI会員の方 無料
 【見学先の概要】

いつの時代も人の暮らしを便利で豊かなものとするために、考え、作られ、利用されてきた容器包装。容器文化ミュージアムは、容器包装の中にかくれているさまざまな秘密を「ひらく」施設です。文明の誕生と容器の関わりから、最新の容器包装まで、その歴史や技術、工夫をご覧くださいませ。ここでは、容器包装の文化を発信するミュージアムです。

★お申し込みはファクシミリによる先着順受付とさせていただきます。

★お申し込み方法は紙面に第281回見学会参加希望とご記入の上、会社名、所在地(〒)、参加者名、所属役職、電話番号、FAX番号をご記入下さい(記入漏れがある場合、無効となりますのでご注意ください)。

★参加証の発送をもって、申し込み受付に替えさせていただきます。参加証は開催日一週間前に発行いたします。

★詳細はホームページにてご覧下さい。

見学会のお申し込み並びにお願い(毎回規程が変わりますので必ずご確認ください)

第52回全日本包装技術研究大会

【札幌大会】～開催のご案内～

【主催】公益社団法人日本包装技術協会 【後援】経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁・日本商工会議所(公財)日本生産性本部 他
 【期日】平成26年11月20日(木)~21日(金)
 【会場】札幌コンベンションセンター 【発表件数】57件(予定)
 【発表内容】包装又は包装資材に関する研究 / 新技術・新システム・新素材の紹介 / 廃棄・リサイクルの容易性 / 包装の現場における改善・合理化の事例 / 省力・省資源・コスト低減の事例など
 【部会】①包装資材部会 ②食品包装部会 ③生活者包装部会 ④環境包装部会 ⑤化粧品包装部会 ⑥輸送包装部会

聴講者募集中パンフレットは10月中旬に完成する予定です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい

◆お申込及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

軟包装の知識について短期習得を目指す

第31回フレキシブルパッケージコース

【開催日】平成26年11月14日(金) 10:00~16:30 【会場】(公社)日本包装技術協会A会議室
 【講師】軟包装衛生協議会 常務理事 下山田 正博 氏(包装管理士) 【定員】40名
 【参加費】会員20,520円(消費税・テキスト代込み) / 一般32,400円(消費税・テキスト代込み)

受講のお勧め

フレキシブルパッケージ(軟包装材料)は、プラスチックフィルム、紙、金属箔などを原材料として製造される柔軟性のある包装材料である。これらは食品、医薬品などの内容物を直接包装するため高度な品質保持機能や安全・衛生性が求められる包装材料である。この講座は、フレキシブルパッケージの企画、開発、製造、などに携わる方々を対象とし、フレキシブルパッケージ技術の根幹となる包装設計を行うための基本的な知識を短期間で習得できるようにプログラム致しました。この機会に関係各位お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP (<http://www.jpi.or.jp>) からご確認ください。

◆お申込及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

平成26年度静岡県包装研究会

開催要領

日時 平成26年11月7日(金) 13:00~16:10
 会場 静岡県男女共同参画センター「あぜれあ」
 501会議室 静岡市駿河区馬淵1-17-1
 参加費 (公社)日本包装技術協会 及び
 (一社)静岡県紙パルプ技術協会会員の方無料
 一般の方:1講演につき 3,240円
 定員 80名 ※先着順となります

《第1部》

13:00~14:30

【テーマ】海外の輸送包装試験規格 - JISとの違いなど -

【講師】エクサーチ(株)

代表取締役 高木 雅弘 氏

《第2部》

14:40~16:10

【テーマ】ヤマハ発動機の梱包改善事例と変遷について

【講師】ヤマハ発動機(株) 生産本部 生産戦略統括部

物流・安全貿易部 物流技術・梱包Gr 深村 英明 氏

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP (<http://www.jpi.or.jp>) からご確認ください。

◆お申込及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

- 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970
 ●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>